

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	一般財団法人合唱音楽振興会
公演団体名	東京混声合唱団

内容
<p>① 混声合唱の響き ソプラノ、アルト、テノール、バスの4声が重なりあってできる混声合唱の美しい響きを実際の演奏で聴き、合唱の仕組みやハーモニーについて理解する。</p> <p>② 校歌と全員合唱(共演曲)の練習 校歌については分析を行い、よりよい歌唱となるようポイントを指導する。また、全員合唱(共演曲)については、各パートの歌い方、音楽作りの方法、練習のポイント等を指導する。ピアノ伴奏を児童生徒が行う場合は、伴奏指導も実施。</p> <p>③ 質問コーナー 児童生徒の質問に回答する。</p> <p>③ 合唱への興味(本公演へ向けて) 実際の演奏をおりませながら、声と体の関係、良い声を出すための姿勢、男子の変声、合唱の仕組みや幅広い表現方法について興味を膨らませ、本公演で実り多い成果を上げられるよう指導する。</p>

タイムスケジュール (標準)									
8	9	10	11	12	13	14	15	16	
			到着 設営	リハーサル	昼食 休憩	開 場	公 演	撤去 搬出	

派遣者数
<p>合計 (6名) (3班体制で実施予定)</p> <p>指導者 (5名) 合唱団:ソプラノ1名、アルト1名、テノール1名、バス1名、ピアニスト:1名</p> <p>スタッフ (1名)</p>

学校における事前指導
<p>① 共演曲を選択する。共演曲は A.各校選択曲、B.「ラララのラー」(鶴見幸代)、C.ミュージカル・メドレー～「サウンド・オブ・ミュージック」より～(ロジャース)のいずれか一つ。</p> <p>② ワークショップ当日の練習曲を音楽の授業やお昼の放送などで周知する。</p> <p>③ 教材、楽譜の事前配布(ワークショップでの指導は校歌および共演曲)。</p> <p>④ ピアノを児童生徒が担当する場合は、人選し、周知する。</p> <p>⑤ 日頃、合唱に取り組んでいる際の疑問点や苦勞している点など、質問事項をまとめておく。</p>

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	一般財団法人合唱音楽振興会
公演団体名	東京混声合唱団

演目	
小学生対象	中学生対象
<p>■校歌演奏</p> <p>■第1部 日本のうた 待ちぼうけ(山田耕筰)／せんせい(三善晃)／地元ゆかりのうたより(各府県毎1曲):</p> <p>■第2部 世界の合唱曲より 夏は来たりぬ(14世紀のカノン)／ハレルヤ(ヘンデル)／フニクリ・フニクラ(デンツァ)</p> <p>■第3部 日本の伝統芸能を素材にした合唱曲－シアターピース－ 萬歳流し(柴田南雄)</p> <p>■第4部 みんなで歌おう／①歌う前にみんなでウォームアップ／②校歌全員合唱／③ABCより選択【A.全員合唱(各校選択曲) または B.ラララのラー(鶴見幸代) または C.ミュージカル・メドレー～「サウンド・オブ・ミュージック」より～(ロジャース)】</p> <p>■第5部 みんなのコーラス となりのトロ(久石譲)／幸せなら手をたたこう(スペイン民謡)／ジッパ・ディー・ドゥー・ダー(ウルベル)／翼をください(村井邦彦)</p>	<p>■校歌演奏</p> <p>■第1部 世界の合唱曲より アヴェ・ヴェルム・コルプス(モーツァルト)／トリッチ・トラッチ・ポルカ(ヨハン・シュトラウス2世)／「カルミナ・ブラーナ」より～おお運命の女神よ(オルフ)</p> <p>■第2部 日本のうた 地元ゆかりのうたより(各府県毎1曲):／ 「親子で歌いごう日本の歌百選」より～さくら(日本古謡・名田綾子編曲)／夕焼け小焼け(草川信・三善晃編曲)</p> <p>■第3部 日本の合唱曲－東京混声合唱団委嘱作品より 萬歳流し(柴田南雄)</p> <p>■第4部 みんなでコーラス ①校歌全員合唱／②ABCより選択【A.全員合唱(各校選択曲) または B.ラララのラー(鶴見幸代) または C.ミュージカル・メドレー～「サウンド・オブ・ミュージック」より～(ロジャース)】</p> <p>■第6部 楽しいコーラス コンダリラ(滝の精)(リーク)／風にありたい(宮沢和史)／Joyful Joyful(ゴスペル)／心の瞳(三木たかし)</p>

派遣者数
合計 (33名) 出演者 (33名) =指揮者1名、ピアニスト1名、合唱団30名、解説1名

タイムスケジュール (標準)										
8	9	10	11	12	13	14	15	16		
			到着 設営	リハーサル	昼食 休憩	開 場	公 演	撤去 搬出		

実施校への協力依頼人員
6名程度(役割:舞台設営、音響準備等, 作業時間30分程度) ※おおまかな目安の人数です。ピアノを持ち上げて移動する必要がある場合は大勢必要です。

演目解説

《小学生対象》

■校歌演奏

ワークショップの中で、児童と一緒に校歌の分析、解釈を細部にわたり施し、本番では東京混声合唱団による模範演奏、合同演奏を行います。

■第1部 日本のうた

○待ちぼうけ(山田耕筰)～詩人・北原白秋と作曲家・山田耕筰の名コンビによる歌で、中国に伝わるお話を基に作られました。合唱がお話を進め、ピアノが情景を見事に描いています。○せんせい(三善晃)～大阪の小学一年生が書いた詩に作曲家が触発されて生まれた曲。児童のまなざしに大人はドキッとさせられます。

○各府県ごとに地元ゆかりのうたを1曲演奏いたします。

曲については、現在選曲中です。

■第2部 世界の合唱曲より

○夏は来たりぬ(14世紀のカノン)～700年程前から生活の楽しみのために歌い続けられてきた輪唱曲です。女声と男声が別々の輪唱を同時に歌います。○ハレルヤ(ヘンデル)～「ハレルヤ」は[神様を讃えよう]という意味で、キリストの生涯を描いたオラトリオ「メサイア(救世主)」の中で、第二部の最後を飾る荘厳な合唱曲です。

○フニクリ・フニクラ(デンツァ)～イタリアの登山鉄道(フニコラーレ)を題材に、男性から意中の女性への熱い想いを明るく歌い上げます。

■第3部 日本の伝統芸能を素材にした合唱曲ーシアターピースー

○萬歳流し(柴田南雄)は、雪国の町、秋田県横手市に伝わる伝統芸能「御門開き」と「秋田御国萬歳」を素材とした合唱曲です。合唱団の男声メンバーが太夫と才蔵のペアに分かれて場内を歩き、門付けをしながら廻ります。会場全体を使って演奏されるシアターピースという形で作曲されています。

■第4部 みんなで歌おう

○東京混声合唱団団員が児童の間に入り、同時体験するふれあいコーナーです。歌う前にみんなでウォームアップ～ステージ上の指導者に合わせて体をほぐし、よい歌声に導きます。○校歌全員合唱○ABCより選択【A.全員合唱(各校選択曲) または B.ラララのラー(鶴見幸代) または C. ミュージカル・メドレー～「サウンド・オブ・ミュージック」より～(ロジャース)～】ワークショップで児童と一緒に練習した曲を、本公演では東京混声合唱団との合同演奏の形で発表します。

■第5部 みんなのコーラス

○となりのトロロ(久石譲)～アニメ映画「となりのトロロ」でおなじみの曲が東京混声合唱団のためにアレンジされたものです。○幸せなら手をたたこう(スペイン民謡)～軽快なリズムに合わせてみんなで楽しめる歌です。みんなで一緒に手拍子、足拍子、元気に体を動かしましょう。○ジッパ・ディー・ドゥー・ダー(ウルバル)～ディズニー映画『南部の唄』の挿入歌。陽気で踊り出したくなるような曲です。／翼をください(村井邦彦)～年代を問わず、幅広い世代に愛され歌い継がれてきた名曲です。

《中学生対象》

■校歌演奏 *小学生参照

■第1部 世界の合唱曲より

○アヴェ・ヴェルム・コルプス(モーツァルト)～モーツァルト晩年の傑作。清澄で安らぎに満ちた響きの中に、キリストへの感謝と賛美が歌われています。○トリッチ・トラッチ・ポルカ(ヨハン・シュトラウス2世)～「おしゃべりポルカ」とも呼ばれ、人の噂が次から次へと町中に広がっていく様子を軽快なポルカに乗せて描いています。

○おお運命の女神よ「カルミナ・ブラーナ」(オルフ)より～ドイツの作曲家オルフが中世に書かれた民衆の詩に付けた壮大な曲です。とくにその第1曲「おお運命の女神よ」は力強いリズムとダイナミックで壮大なメロディーが心に強く刻まれます。

■第2部 日本のうた

地元ゆかりのうたより(各府県ごと1曲) *曲については現在選曲中。

「親子で歌いごう日本の歌百選」より～

○さくら(日本古謡・名田綾子編曲)～誰もが知っている「さくら」の旋律を、名田綾子がつけた情感豊かなピアノ伴奏に乗せて歌われます。○夕焼け小焼け(草川信・三善晃)～誰もが知っている夕焼け小焼け、三善晃の編曲では、一番を女声、二番を男声、そして最後に混声で壮大な盛り上がりをお聴かせします。

■第3部 日本の合唱曲—東京混声合唱団委嘱作品より

東京混声合唱団は1956年の創立以来、日本の作曲家に作曲をお願いして、オリジナルの合唱作品を200曲以上、生み出しております。今回はその中から面白い動きを伴った作品を紹介いたします。

○萬歳流し(柴田南雄)は、雪国の町、秋田県横手市に伝わる伝統芸能「御門開き」と「秋田御国萬歳」を素材とした合唱曲です。合唱団の男声メンバーが太夫と才蔵のペアに分かれて場内を歩き、門付けをしながら廻ります。会場全体を使って演奏されるシアターピースという形で作曲されています。

■第5部 みんなでコーラス

○校歌全員合唱○ABCより選択【A.全員合唱(各校選択曲) または B.ラララのラー(鶴見幸代) または C. ミュージカル・メドレー～「サウンド・オブ・ミュージック」より～(ロジャース)～】ワークショップで生徒と一緒に練習した曲を、本公演では東京混声合唱団との合同演奏の形で発表します。

■第6部 楽しいコーラス

○コンダリラ(滝の精)(リーク)～オーストラリアの現代作曲家リークによる作品です。まるで深い森の中に迷い込んでしまったかのような音空間が味わえる不思議な一曲です。○心の瞳(三木たかし)～1985年飛行機事故で亡くなった歌手坂本急の最後の歌となったこの曲は、心の瞳をひらいてみれば本当の愛が伝わるという美しい歌です。○風になりたい(宮沢和史)～「日本のサンバを作りたい」というコンセプトから生まれた作品で、サンバのリズムに乗せた軽快な1曲。○Joyful Joyful(ゴスペル)～映画「天使にラブソングを2」の中で歌われたゴスペルナンバーです。ベートーヴェンの「第九」の旋律が使われています。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

合唱は、児童生徒全員が参加できる演奏形式であり、基本的には全員が合唱に参加する形での共演形態を想定しています。

実施校の規模に応じて、代表学年や代表クラスがステージ上で共演したり、体育館全体を大きなステージと仮定して、合唱団メンバーが児童生徒の中に入って並んだり、誰でも・どこでも・いつでも参加できる「合唱」の利点を最大に生かした共演形態を実施校の現場の先生方と十分に打ち合わせた上で、実施校毎の具体的な共演形態を決定します。

また、合唱は特殊機材などを使用しないため、学校の管理の下、危険のない範囲で児童生徒が舞台設営、撤去に参加してもらうことも可能です。総合的に公演に関わることにより、教育的効果も高いと考えられます。

全員合唱曲は、小学校・中学校共に A.各校選択曲または B.「ラララのラー」(鶴見幸代) または C. ミュージカル・メドレー～「サウンド・オブ・ミュージック」より～(ロジャース)～の選択制といたしました。A.各校選択曲の場合は、各学校において事前に1曲選曲していただき、実施校の実情を考慮して指導します。「ラララのラー」「サウンド・オブ・ミュージック」は、大人と一緒に声を出して体を動かしているうちに曲が完成してしまうという誰でも取り組める作品で、子供のハーモニーに大人のハーモニーを重ねてでき上がる、声による不思議な音空間を楽しんでいただきます。また、全員合唱(A.各校選択曲)の際、ピアノを児童生徒に担当してもらうことも可能です。その他、校歌の全員合唱も実施いたします。

ステージについても、体育館にどのように並んで発表するか、過去の実施例をふまえ、参加人数等を考慮しながら実施校に最も相応しいステージで円滑な進行ができるよう工夫いたします。

児童生徒とのふれあい

上記の共演曲以外での児童生徒とのふれあいとして、三つオプション「サイン色紙の贈呈」、「校歌の録音音源の贈呈」、「ふれあい写真撮影会」をご用意いたしました。以上の三つのオプションの中から、いずれか一つを各校に選択いただけます。

出演者全員による「サイン色紙の贈呈」は、公演の思い出として学内にサイン色紙を掲示していただけます。「校歌の録音音源の贈呈」は、本公演当日のリハーサル時間の合間に各校用意の録音機材により校歌演奏を録音していただき、その音源を贈呈いたします(録音された音源は校内のみでお聴きいただくことをお約束いただき、CD 等への複製やインターネットへの配信等にご遠慮くださるようお願いいたします)。「ふれあい写真撮影会」は、終演後に出演者がフロアに下り、児童生徒と出演者一同で写真撮影を行います(撮影機材は各校でご準備いただけます)。

以上のようなことを実施することにより、演奏者より深い親近感の広がる交流が可能であると考えます。

なお、インターネット上に「ふれあいホームページ」(<http://toukonfureai.com>)を開設し、この事業について児童生徒や教職員の方々を対象に分かりやすくご案内すると共に、ワークショップから本公演終了後に至るまで、より一層の交流を深めるようにいたします。

【補足事項】

今年度に関しては、今般のコロナ禍の影響がさらに続く場合、合唱団としては実施学校のご希望に応じて例年とはイレギュラーな実施形態にも対応したいと考えています。例えば、三密を避けるため生徒を2グループに分けて一日2回公演にするなど。2回公演にした場合、通常90分公演を60分2回などが考えられますので、本実施計画書に記載したプログラムを一部変更することが考えられます。

いずれにしても、学校様のご希望にできるだけ沿った形で対応したいと考えております。